

ボーイスカウト日本連盟 ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン宣言



1922年に設立された世界スカウト機構の規約第一章第1条「定義」における「スカウト運動の創始者であるロバート・ベーデン-パウエルによって考案された目的・原理・方法および以下に述べる事項に従って、性別、出生、人種、信条による区別なく誰をも対象とした、青少年のための自発的で非政治的な教育運動である」を受け、ボーイスカウト日本連盟は、平等の原則に従い、ボーイスカウト運動をすべての人を開いています。

現代社会において、さらに多様性が尊重され、包摂される公正な共生社会の実現が求められる中で、ボーイスカウト日本連盟の活動に関わるすべての人に向けて、『ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン』を推進することを宣言します。ボーイスカウト日本連盟は、本宣言をもって「スカウト運動の定義」における多様性尊重の理念を再確認し、意識を高めることによって、新たな段階を目指します。

今後、ボーイスカウト日本連盟は、青少年プログラムや Adults in Scouting (AIS) 施策の開発をはじめ、すべての活動を本宣言に基づいて展開します。

1. ダイバーシティ（多様性尊重に向けた多角的な取り組み）

ボーイスカウト日本連盟の活動に関わるすべての人が、人種、民族、国籍、言語、宗教、信条、思想、性別、性自認、年齢、出身、門地、その他の地位、財産、婚姻の状況、家族関係、ライフスタイル、経歴、障がいの有無、疾患等の事由によって差別されず、安全に活動でき、適切な支援、研修を受けられ、意見が尊重されることを目指します。

2. エクイティ（公平性に向けた取り組み）

ボーイスカウト日本連盟は、活動に関わるすべての人々を平等に扱い、公平な機会を提供することを通じて、だれもが能力を最大限に發揮できるよう、支援します。

3. インクルージョン（包摂に向けた取り組み）

ボーイスカウト日本連盟は、インクルージョンの精神を尊び、すべての活動において、多様な視点が反映されるように努めます。また、ボーイスカウト日本連盟の活動に関わるすべての人が、属性や背景を理由に不当に排除されることなく、意思決定プロセスを含む活動に参画する機会を保障します。

4. 活動に関わるすべての人の意識改革

ボーイスカウト日本連盟は、活動に関わるすべての人の無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）をなくし、多様性が尊重される組織・プログラム・研修などの開発を促進します。